



留学生は「日本」をどう見たか

—2016年度 岐阜大学日本語・日本文化研修留学生の日本研究発表会—



いま、外国から来た人たちは、とても身近な隣人です。彼らは、日本の社会・文化をどのように見て、どのように感じているのでしょうか。インドネシア・オーストラリア・韓国・スウェーデン・タイ・中国・ニュージーランド・フランスから岐阜大学に留学している日本語・日本文化研修留学生の1年間の研究の成果を発表します。

「日本語・日本文化研修留学生」とは

岐阜大学留学生センターは、毎年10月に日本語・日本文化研修留学生（略称日研生）を迎えます。日研生は翌年8月までの約1年間、日本語と日本文化について学び、その総仕上げとして修了論文を執筆します。論文のトピックは、学生一人ひとりが自分の興味のあるものを選び、教員の指導を受けながら論文を完成させます。岐阜大学の日研生コースは、2001年度に1期生を受け入れ、今回研究発表をする学生たちは15期生となります。彼らの研究成果を、ぜひ皆様にお聞きいただきたいと思います。

日時 2016年8月7日（日）13:00～17:00（開場 12:30）

会場 岐阜大学サテライトキャンパス（スカイウィング37 東棟4階）

発表学生・発表題目（仮）（姓五十音順） ※発表順ではありません

シモン・ウィークランド（スウェーデン） 武士の遺産

—新渡戸稲造の「武士道」は日本人若者に生きていますか—

王 卉怡（オウ キイ・中国）

中国の美容美髪所と日本の理容美容所における問題点と特徴

サムツキーリー・アネチャー（タイ）

日タイにおける障がい者の学生へのサービスの比較

—岐阜大学とカセサート大学におけるサービスを中心に—

徐 恩愛（ソ ウネ・韓国）

日本における公共広告 —公共広告と時代の関係性を探る—

テグ・プラサラ（インドネシア）

なぜスマートフォン・ゲームに課金するのか

デスクスト・シャルル（フランス）

人と塩の関係 —ヨーロッパと日本の塩、その信仰と表現の比較から—

バークベックジョーンズ・トビー（ニュージーランド）

昔むかしあるところにマオリ族がいました —マオリ族の民話の分析—

ヨンソン・エミル（スウェーデン）

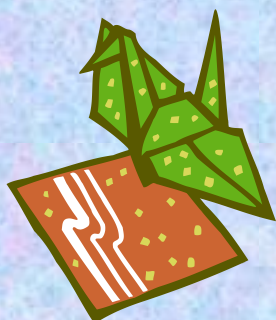
在日朝鮮語における発音分析 —語頭子音による破裂音の比較調査—

李 琪琪（リ キキ・中国）

日本の独特なマスク文化 —日本が「マスク大国」と呼ばれる理由—

ン・テレンス（オーストラリア）

キリスト教の視点から見る日本 —キリスト教受容の歴史を中心に—



参加費：無料 定員 80名

申し込み：不要（当日直接会場へお越しください）

駐車場：有料（スカイウィング37）

主催：岐阜大学留学生センター 後援：岐阜市

問い合わせ先：岐阜大学国際企画課留学生支援係

電話：058-293-2137